

# Aichi あいちの学童保育

県連協ニュースNo. 2

2021年8月3日発行

愛知学童保育連絡協議会

TEL: 052-872-1972 FAX: 052-308-3324

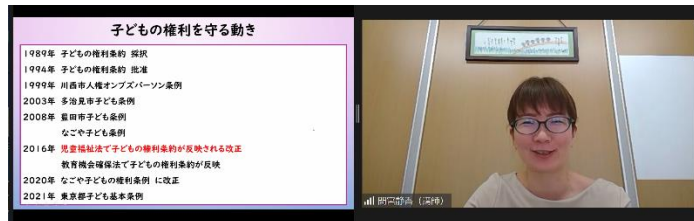
Email: aichigakudou@gakudou.biz

http://gakudou.me/



## 第46回全国学童保育指導員学校 西日本愛知会場が開催されました

2021年6月6日(日)第46回全国学童保育指導員学校西日本愛知会場がオンライン開催されました。愛知会場では、全体で541名の参加があり、愛知からの参加者は249名でした。



午前の全体会は、弁護士間宮静香さんによる「学童保育と子どもの権利」ZoomとYouTubeによるライブ配信、後日配信も行いました。

午後は9つの講座をZoomにて行いました。指導員学校実行委員の3名の世話人をつとめた指導員より感想をいただきましたので紹介いたします。

### ●基礎講座1 学童保育の役割と指導員の仕事

世話人として引き受けたはずが、なぜか岡崎市担当になっており、心の準備もできないまま、実行委員会に参加していました。一昨年はコロナにより中止でしたが、今年度はZOOM開催が決定し、小休止していた実行委員会がスタート。講師にアポイントを取り、市の担当課に出向き後援の許可を得るなど、ほんの一部ですが、研修を作り上げていく様子を見ることができ、よい経験をさせてもらいました。資料においては、杉谷先生が『放課後児童クラブ運営指針解説書』『日本の学童ほいく』を引用されており、本を読み込む重要性を教えられました。また各講座の資料の修正を実行委員会で行いましたが、運営指針等の条例が頭の中に入っている指導員さんもおられ、自分がそういったものからいかに遠ざかって

いたかを思い知らされました。『放課後児童クラブ運営指針解説書』『日本の学童ほいく』は、今後さらに読み込んでいこうと反省した指導員学校でした。

(岡崎市：鈴木さん)

### ●基礎講座2 子どもの理解とはたらきかけ

今回、世話人という立場で講座に参加しましたが、指導員経験年数に関係なく聴いてもらいたい講座でした。講師の先生が分かりやすく丁寧に話をしてくださりました。子どものありのままの姿を見る、聞く(心の声を聞き取る)ということの大切さを実感しました。また、子どもの発達の特徴を理解し、成長発達を見つねながら、学童保育ならではの子どもとの関わり方の大切さを学びました。さらに、子どもを理解していくためには子どもの様子を記録することや指導員間で共有していくとともに実践、検証をしていき、この作業を繰り返し行うことで子どもの気持ちに少しずつ寄り添っていくことができているのだと感じました。

(豊川市：山口さん)

### ●特別講座9 学童保育と作業療法士の連携

講師の伊藤先生は現役の作業療法士であり、学童保育でのコンサルタント経験も豊富な、子どもたちへの愛情と優しさに溢れたとても素敵な先生です。

子どもの困りごとを作業療法の視点から捉えると、今までにない解決法が出てくることがあります。私を含め、「そんな方法があるのか!」と思った方も多かったのではないのでしょうか。参加者状況をみると作業療法の研修は初めてという方が多くいらっしゃいましたが、事例研究の質疑応答では皆さんの熱意が伝わってきて、このテーマでのニーズの高さを感じました。

事後アンケートの「うちの学童に持ち帰って実践してみたいです」の声に、世話人として報われる思いがしました。

(豊川市：廣田さん)

## 一人ひとりの声を届けよう・請願署名のお願い



「国への請願署名」との2つに取り組みます。

### ●一人ひとりの声を国と自治体に届けようについて

国や自治体へ、学童保育の実態や課題を、より具体的に現場の声を伝え改善をはかってもらおうという取り組みです。みなさんの、現場の声を届けることで、それが請願署名や団体でまとめる要望書の根拠となり、強いメッセージ性をもつものとなります。

県連協では、今年度の大きな運動の柱として、「一人ひとりの声を国と自治体に届けよう」と

県連協では、Google フォームより、みなさんの声を集約いたします。右の QR コードより声をお届け下さい。



0 署名世帯を

なくそう!



●国への請願署名について  
請願項目は、

1. 第198回国会で採択された「学童保育（放課後児童健全育成事業）を拡充し、子育て支援の充実を求める請願」を国の責任で具体化してください。

2. 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、さらには新興感染症にも対応していくためにも、「指導員の資格」、「配置基準」、「広さ」、「子ども集団の人数規模」を早急に改善してください。上記の趣旨にふまえて、「第9次地方分権一括法」の附則による「施行後3年」の見直しの際には、学童保育の基準を拡充してください。の2項目です。

**参酌化された基準の「施行後3年」の見直しは2022年度中に行うことが定められています。この見直しに向けて、全国学童保育関係者に広く呼びかけ、請願署名に取り組み、私たちの声を直接国会に届けます。**

コロナ禍ということもあり、署名を集めることは大変です。請願書は5筆、署名欄があります。当事者の私たちは、まず署名をしましょう。取り組み目標は0署名世帯をなくそう！です、1筆でもかまいませんので署名にご協力お願いいたします。

請願署名の第一次集約は、9月12日（日）の愛知県連協運営委員会とさせていただきます。

## ほいく誌コラム

2021年7月号P.46

講座 子どもと共にいまを生きる  
第4回「同意」を学ぶ



手元に届いたほいく誌をパラパラと見て、目に留まった「あなたのためを思って」？の副題。読み始めると胸がチクチク痛みました。

このところ娘から「勝手に決めんでー」とか「（私が）決めるなら聞かんでー」と、何度か言われていたからです。

私は、娘がどうしたいかを聞いているつもりだったけれど、娘が迷って考えている途中なのに、結論を待たずに私が決めてしまうと言うのです。聞けば、「今まで、ずーっとそうだった」とのこと。私はそんなつもりではなかったのに…と反省していたところでした。

大人は子どもの同意をないがしろにしがちと書かれています。子どもの考えをもう少し待てる余裕を持った大人にならなければと、この講座を読んで思いました。

（名古屋市：保護者 OB）

## 新型コロナワクチン優先接種・PCR検査について



県連協では、学童保育指導員の新型コロナウイルスワクチンの優先接種をすすめてほしいと県へ要望をしていました。

県議会議員の森井さんが、県に働きかけてくれ、県が各自治体の学童保育指導員の優先接種状況を確認しました。

県連協加入地域では、各自治体の枠で、何らかの形で接種ができるように話が進みつつあります。また、県でも学童保育指導員の優先接種枠（650人分）を確保してもらえたので、何らかの事情で接種ができていない学童保育指導員がいる場合は、早急に県連協までご相談ください。

学童保育では、夏休み暑さ対策でマスクの着用を避ける状況もあり、感染のリスクが高いです。名古屋市の放課後等デイサービスでは、無症状の指導員に対し定期的なPCR検査の実施がはじまります。全国連協では、7月19日に「新型コロナウイルス感染症」学童保育にかかわる緊急申入書として、3点の要望内容を国へ提出しています。①都道府県や市町村へ、学童保育指導員の新型コロナワクチンの優先接種が必要であるという通知を発出していただきたいこと、②マスクや消毒液などの消耗品などを整備できるための予算だて、③PCR検査の体制の拡充と公的検査の実施を要望しています。

これから暑い夏休みです。子どもたちは1日保育で、学童保育で長い時間共に過ごします。暑さ対策を講じつつも、引き続き感染に留意しながらの保育が必要です。そのためにも、コロナワクチンの優先接種や、PCR検査の公費での実施がすすめられるように、県連協としても引き続き活動をすすめていきます。

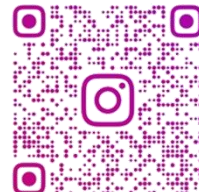
## 県連協HP・SNSのご紹介

県連協では、随時ホームページを更新し、学童保育に関する情報発信を行っています。

SNS アカウントも Facebook に加え、新しく、Twitter と Instagram を作成しました。これらを通じて、県連協 HP の更新情報も発信していきますので、ご利用の方は『フォロー』『いいね♪』をお願いします。



Twitter



Instagram



Facebook

また、県連協 HP では、各種資料を pdf で掲載しています。地域の会議などで、『資料が足りない!』というときにも、是非ご活用ください。